



カラマツエリートツリー特定母樹の円滑な普及に向けて

【覚書の締結】

中部森林管理局、長野県、伊那市及び国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所 林木育種センターの四者は、成長に優れた「特定母樹」に指定されたカラマツエリートツリーを、広く普及する取組を連携して進めるため、令和4年3月31日付けで覚書を締結しました。



カラマツエリートツリーの接ぎ木苗

【締結の背景】

昨年6月に閣議決定された新たな「森林・林業基本計画」では、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を目指す「新しい林業」を展開することとしています。この新しい林業の中核となるのが、従来の苗木に比べ1.5倍以上の成長を示す特定母樹を活用した低コスト施業体系の構築です。

長野県のカラマツ林業発展に向けて、将来的にこのカラマツエリートツリー特定母樹から生産される成長に優れた苗木を、森林所有者、造林事業者、苗木生産者の方々に積極的に利用いただくため、四者で連携してその環境づくりを進めていくこととしたものです。

【キックオフイベント（カラマツエリートツリー植樹セレモニー）】

この覚書に基づく最初の取組として、伊那市が日本初となる「カラマツエリートツリー特定母樹の展示林」を伊那市市民の森に設置しました。

また、令和4年4月12日に「カラマツエリートツリー植樹セレモニー」を開催し、エリートツリー、第1世代精英樹、コンテナ苗をそれぞれ30本ずつ植栽しました。



カラマツエリートツリー特定母樹の展示林の看板



セレモニーの様子



林木育種センター所長による苗木の説明

【今後の取組予定】

伊那市の展示林に続き、令和5年春には浅間山の国有林にもエリートツリーの苗木を植栽し、展示林を造成する予定です。この従来品種と異なる新たな品種に、多くの林業関係者に関心を持っていただき、理解を深めていただくため、苗木の成長に合わせ、現地検討会等を開催していく予定です。

※エリートツリー特定母樹についてはこちらをご参照ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanbatu/kanbatu/boju.html>